

中学校 技術・家庭科【技術分野】



1 学習評価で大切にしたいこと

(1) 問題解決的な学習と評価

技術分野で目指す資質・能力は、単に何かをつくる活動だけで育成できるものではありません。問題解決的な学習を通して、知識と技能、課題解決力、技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養います。知識・技能のみを重視した評価とならないようにすることが大切です。

(2) 発達段階に合わせた評価の視点

評価規準を設定する際に参考とする学習指導要領解説は、第3学年を念頭に書かれています。指導する学年が第1学年の場合は、問題を見いだす範囲を生活としたり、解決する際に配慮する視点を、安全性に限定したりして設定するなど、発達段階に合わせた視点で見取ることが必要となります。

2 評価の観点と趣旨

「指導と評価の一体化」を図るためには、学習指導要領の目標や内容とあわせて、下記に示す技術分野の評価の観点と趣旨を参考にして、評価の基本的な枠組みを捉えます。

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

なお、技術分野では「評価の観点及び趣旨」を参考にして、右記の「内容のまとまり」（項目）及びその要素を抜き出し、題材の評価規準を作成します。

内容：A 材料と加工の技術

項目：（1）生活や社会を支える材料と加工の技術

※技術・家庭科では項目が「内容のまとまり」となります。

3 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成

「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準は、下記の♠～◆の内容を全て含め、題材の目標や学習内容に応じて設定します。

- 例
- ♠ 粘り強さ（例・知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとすること）
 - ♥ 自らの学習の調整（例・♠の中で自らの学習を調整しようとする側面）
 - ◆ ♠、♥の学びの経験を通して涵養された、技術を工夫し創造しようとする態度

ポイント

必要に応じて分野別の評価の観点の趣旨を基に、「内容のまとまりごとの評価規準」の要素を加える等（下線の部分）、題材の評価規準を設定します。

第1学年 内容「A 材料と加工の技術」

内容Aの項目（1）（2）（3）をまとめて1つの題材で指導する際的评价規準の例

単元の 評価規準例	よりよい生活や社会の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり（♠）、振り返って改善したり（♥）して、 <u>材料と加工の技術</u> を工夫し創造しようとしている（◆）。
--------------	--

4 評価の留意点

知識・技能

基礎的な技術について、その仕組みの理解やそれらに係る技術の習得状況を評価します。技術に関する科学的な原理・法則とともに、技術と生活や社会、環境との関わり及び生活等の場面でも活用できる技術の概念の理解も評価します。

思考・判断・表現

技術を用いて生活や社会における問題を解決するための思考力、判断力、表現力等が育成されたかを評価します。指導する学年や、学習過程の中の位置づけを踏まえ、思考力等の発揮している具体をイメージした上で評価することが大切です。

主体的に学習に取り組む態度

自ら進んで知識及び技能を獲得しようとしたり、課題を解決しようとしたりしながら、技術を工夫し創造しようとしているかを評価します。観察以外にレポートや設計図、振り返りカード等の記述や、評価資料のポートフォリオを時系列で比較し、総括して評価します。

（※評価の事例については国研資料「『指導と評価の一体化』のための学習評価」中学校 技術・家庭 第3編(P.37～)を御参照ください。）